学校番号	1301

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	コンピュータ・アート	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・今までに学んだ知識を活かしつつコンピュータグラフィックにおける基礎的な技術、技法を学習します。
・造形コースのモデルプラン科目として、アナログ表現だけでなくコンピュータを使った表現ができるようになることを目標に設定しました。
・クラスメイトと作品を見せ合い評価しあう中で、それぞれの見方、感じ方の違いを共有し、表現に対する理解を深めます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
コンピュータグラフィックにおける基本的な知識を学び、狙いどおりの表現ができる技能を身に着ける。
【思考力、判断力、表現力等】
主題に基づいて自分らしい感性や美術感覚を生かして、資料を選択し、構想、構成、加工、編集し、心豊かに表現することができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
日常にある広告や雑誌、インターネットなどを活用して、グラフィックに対する興味関心を深め、自身の制作に役立てる感性を身に着ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・コンピューターグラフィックソフトの使い方を知る。 ・写真加工や、ベジェ曲線によるトレースなどができるようになる。	・コンピューターグラフィックソフトを使うことで、より効果的に表現することができるようになる。 ・自らの表現の目標に向かって予測してソフトを扱えるようになる。	・試行を繰り返し、制作に取り組む。 ・作品発表会で他人の発想の良さを認め共感できる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
ステージ1	オリエンテーション	授業のきまり 内容説明 教材配布	c 授業のきまりや流れを積極的に理解するよう取り組めたか a 説明を受け止め、指示通り教材に記名し適切に収納できたか	ワーク 作品	ワーク 作品	ワーク 作品 授業態度
	グラフィック基礎知識	・グラフィックとは何かを学ぶ ・画像をコンピュータに取り込みデータ管理を行う。	a 画像の取り組みとデータの扱いについて理解ができたか。 a ソフトの使用方法が理解できたか。 b ソフトの使用方法を理解し、加工編集によって自己を表現することができているか。 c 作品発表会で他の良さを認め共感できたか。	ワーク 作品	ワーク 作品	ワーク 作品 授業態度
	ペイント系ソフト	・Photoshop Elementsソフトを使用して、画像の加工や編集を行う。 ・テーマ性のある画像を制作・発表する。	ab ソフトの使用方法を理解し、加工編集によって自己を表現することができているか。 c 作品発表会で他の良さを認め共感できたか。	ワーク 作品	ワーク 作品	ワーク 作品 授業態度
ステージ2	アニメーション制作	レイヤー機能を使い、アニメーションを制作する。	abc 画像がコマ送りでかわっていく楽しさやアニメの仕組みを知り、制作できたか。	ワーク 作品	ワーク 作品	ワーク 作品 授業態度
	ドロー系ソフト	・Adobe Illustratorソフトを使用して、画像の加工や編集を行う。 ・テーマ性のある画像を制作・発表する	ab ソフトの使用方法を理解し、加工編集によって自己を表現することができているか。 c 作品発表会で他の良さを認め共感できたか。	プリント 作品	プリント 作品	プリント 作品 授業態度

ステージ3	まとめ・ポスター制作	・表現したいテーマについて構想を練る。 ・自己表現に必要なソフトや素材を選択し、構成・加工・編集を行う。 ・作品発表会を行い、友人の表現や主張を感じ、鑑賞活動を行う。	abコンピュータの特性を理解し、構想、構成、加工、編集し、心豊かに表現することができたか。 c他人の発想の良さを認め共感できたか。	ワーク 作品	ワーク 作品	ワーク 作品 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度